

日本・中国青年親善交流事業



中華人民共和国 基本情報
 首都：北京
 面積：960万平方キロメートル
 （日本の約26倍）
 人口：13.90億人
 公用語：漢語（中国語）
 GDP：90兆310億元（2018年）

10/29	東京（羽田）発 北京着 「史家胡同博物館」および コミュニティ・ユース・クラブ との交流 中華全国青年連合会主催 歓迎夕食会
10/30	中華全国青年連合会表敬訪問 及び講義 中関村創業大街視察 北京大学グローバル大学生創業 イノベーションセンター 視察、交流
10/31	北京語言大学にて大学生との 交流活動、意見交換
11/1	故宮博物院視察 在中華人民共和国日本国大使館 表敬訪問 中国食文化体験（餃子作り） 北京発高速鉄道にて河南省へ 河南省青年連合会歓迎夕食会
11/2	ホームステイ
11/3	ホームステイ ホストファミリーとの 歓迎夕食会
11/4	鄭州航空港経済総合実験区視察 河南省洛陽市へ移動 洛陽古城および青年の家視察 切り絵体験
11/5	河南科技大学訪問 世界遺産・龍門石窟見学
11/6	鄭州発 杭州着 民間慈善家組織 滴水公益見学
11/7	杭州芸福堂茶業有限公司訪問 網易集団訪問 吉利集団訪問 杭州城市規画館見学 遊覧船で世界遺産・西湖観光
11/8	浙江工業大学訪問、意見交換会 「京杭大運河博物館」見学 刻印（無形文化遺産工芸）の体 験 浙江省青年連合会主催夕食会
11/9	杭州発 東京（成田）着



中華全国青年連合会表敬訪問

中華全国青年連合会は、中国共産党の指導下の団体で、本事業の訪問活動をサポートしてください。本部では奇巴図副主席にお会いしました。また、張季風中国社会科学院日本研究所副所長から、新しい時代における日中関係についての講義をしていただきました。



切り絵体験

河南省洛陽市では切り絵体験をしました。世界無形文化遺産に登録されており、結婚や出産などの人生の節目の際に使われます。赤色は中国では大変縁起のいい色で、今回は牡丹の柄を切りました。



文化交流

日本文化として団員が空手の演武や板割りをしたり、全員で東京五輪音頭を踊ったり、中国語の歌を歌いました。中国側からは、伝統的な歌や豫劇、太極拳が披露されました。両国文化として福笑いで交流もしました。

企業訪問

浙江省杭州市では様々な企業を訪問しました。吉利集団は中国を代表する自動車メーカーの一つで、ボルボ最大の株主になるなど著しく成長を遂げています。最新技術を取り入れた車に実際に乗り彼らの製品を肌で感じることができました。



現地青年との意見交換

現地青年と青年の起業・就業、キャッシュレス社会などについて意見交換を行いました。大学でも起業支援を行っていたり、スマホ1台持っていれば、ほぼ何でも済むことなど、両国の今について意見を交わしました。



ホームステイ

河南省鄭州市で2人1組で1泊2日のホームステイをしました。小さな子供がいる家庭も多く、家族そろって近郊の少林寺や開封を訪れたり、現地の有名な火鍋を食べに行ったりして中国人の週末の過ごし方を体験できました。青年起業家のお宅にお世話になった団員もあり、凄まじいおもてなしの心に圧倒されっぱなしでした。



餃子作り体験

派遣で最も印象に残っていること

中国派遣団 板坂英莉佳 (大学3年)

私が、今回事業に参加した理由は、大学に入学後中国の方と交流する機会が多くあり、中国について関心を持ち、日本にいただけでは知ることの出来ない現地の実情をもっと知りたいと思ったからです。今回の研修で私が印象に残ったことは現地でのホームステイ体験でした。この体験で、私はホストファミリーと街に買い物に出かけ、キャッシュレス化など中国の日常生活の様子を知ることができました。また、私は訪問するまでは中国の方に対して厳しくて怖い人が多いのかと思っていましたが、私のホストファミリーの方はとても世話好きで私に対して沢山のおもてなしをしてくれました。このような事実は日本にいる時では知ることの出来ないとても貴重な経験であり自分の視野を広げることができました。



それぞれの道

中国派遣団 横井悠里 (社会人)

私は国際業務に携わる立場にありながら、中国に対して凝り固まった価値観を持っていました。本事業で日本にいただけでは決して知ることができない「実際の中国」を目で見て、肌で感じることで、これまでの中国に対するイメージが一変したと同時に、自身の中で変化が起こり、「何か新しいことに挑戦したい!」という意欲が芽生えました。私が学生時代に本事業に参加していれば、今とは別の道を歩んでいたのかも知れません。中国に関心がある方だけではなく、今後の進路に悩んでいる方、自分自身を変えたい方は是非本事業に参加して下さい。きっとあなたの新しい道が見つかるはずです。



日本・韓国青年親善交流事業



大韓民国 基本情報
 首都：ソウル
 面積：10万平方キロメートル
 人口：5,127万人
 公用語：韓国語
 GDP：1兆4,112億ドル（2016年）

9/18	東京（羽田）発 ソウル（金浦）着
9/19	女性家族部表敬訪問 大韓民国歴史博物館見学 在大韓民国日本国大使館公報文化院 （副院長から文化院についてのお話を拝聴）
9/20	日韓青少年交流会 （韓国青年団と文化交流会及び夕食）
9/21	日韓青少年交流会 （韓国青年団との討論会）
9/22	全北大学校日本語研究会 （学生と日韓交流プログラムの作成）
9/23	全州青少年文化の家訪問 （青少年との交流及び チョンサチョロン作り体験） 国立青少年農生命センター見学 （表敬訪問及び質疑応答、 センター視察）
9/24	ウェアム民俗村見学 （天然素材色染め体験） 国立中央青少年修練院訪問 （表敬訪問及び質疑応答）
9/25	華城行宮見学（展示観覧） サムスンイノベーション ミュージアム見学 韓国外国語大学校訪問 （「韓国語と日本語のあいさつ行動」の 講義）
9/26	国立民俗博物館見学 戦争記念館見学 Nソウルタワー訪問



女性家族部表敬訪問

この事業を内閣府と共同で主催している女性家族部を訪問しました。女性家族部は主に女性、青少年、多文化家族を対象とした政策に取り組んでいる行政機関です。



ホームステイ

ソウル市内で2泊3日のホームステイを体験しました。ホストファミリーと夕食を食べたりやショッピングをしてコミュニケーションをとることができました。韓国の生活様式を体験できる貴重な機会になりました。



文化交流

日本側青年は地域クイズ、「恋ダンス」や「弘前ねぶた囃子」演奏の披露など日本文化を紹介しました。また韓国側青年の伝統楽器演奏やK・POPダンス、全員合唱などを見聞きし、韓国文化を体験することができました。

訪問先について

韓国外国語大学校を訪問し、日本と韓国の挨拶や行動の比較についての講義を受けました。また戦争記念館では、朝鮮戦争に関する資料が沢山展示されており、日本では学ぶことのできない歴史を学ぶことができました。



ディスカッション

「多文化共生」を大テーマに教育・労働・ジェンダー・暮らし・メディアのトピックごとに5つのグループに分かれ、韓国青年団とディスカッションを行いました。日本と韓国の考え方や文化を共有することができました。

9/27	韓国両性平等教育振興院訪問 (両性平等に関する講義) 文化備蓄基地見学 ホームステイ歓迎式
9/28	ホームステイ
9/29	ホームステイ アチムゴヨ樹木園見学
9/30	ソウル文化探訪 (日韓既参加者交流会、 韓服体験、ソウル自由ツアー)
10/1	希望製作所訪問 (施設見学、 プロジェクトに関する説明) MBCワールド見学 歓送晩餐及び評価会
10/2	ソウル(金浦)発 東京(羽田)着



サムスンイノベーション
ミュージアム見学



国立中央青少年修練院訪問



ウェアム民俗村(草木染体験)



大韓民国歴史博物館見学



華城行宮見学



青少年交流会(討論発表)

「交流」の大切さ

韓国派遣団 岡田真奈 (大学3年)

私はこの事業を通して、日韓の大切な仲間と出会い、韓国の魅力を再発見することができました。現地では何度も温かい歓迎を受け、「韓国に来てくれてありがとう。日本のこと大好きだよ。」と街で声をかけて頂いたこともあります。皆さんは今、韓国に対してどのようなイメージを持っているでしょうか？昨年は特に、メディアの情報から日韓関係に不安を感じた人は多かったらと思います。私は約2週間の訪問で「反日」とはかけ離れた、魅力溢れる「韓国」に出会うことができました。私は韓国が大好きです。もし少しでも韓国に興味がある方がいれば、ぜひ現地へ足を運んでみてほしい。どんな状況になっても「交流」をやめない、これが大切であると思っています。



広げる、イメージ

韓国派遣団 濱田和佳 (大学4年)

「韓国」と聞いてみなさんは何を想像しますか？世界地図上の韓国、キムチ、K-POPアイドル、などなど。私は「韓国」と聞いて一番に思い浮かべるのは、この派遣を通じて知り合った数多くの日韓両国の友人たちです。韓国に関心を持つ同世代の日本人の仲間とのやりとりを通じて今まで気づかなかった自分に出会ったり、自分自身を成長させたりすることができました。現地で出会った幅広い世代の韓国人の方々と話をする中では「外」からでは分からない発見がたくさんありました。また、おもてなしや思いやりのような韓国人が持っている温かい「情()」を数多くの場面で感じる事ができて、私はさらに韓国のトリコになりました。この事業に参加したことによって、私の頭の中にある韓国のイメージは平らな地図から、大きな多面体に変化しました。そしてこれからはその面をどんどん増やしていこうと思います。

